

第132号

平成21年 4月15日

松川村 議会

平成21年度予算を議決 大型事業終了による前年比6・6割減



完成したすずの音ホールを視察

平成21年第1回定例会提出案件

- 〔条例等〕
 - 松川村多目的交流センター設置及び管理に関する条例など2議案
 新設
 一部改正
 一部改正
 賛成全員可決
- 〔予算〕
 - 平成20年度一般会計補正予算など7議案
 賛成全員可決
 - 平成21年度一般会計予算など8議案
 賛成全員可決
- 〔その他〕
 - 長野県町村公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の減少及び規約の変更についてなど9議案
 賛成全員可決
- 〔報告〕
 - 平成21年度各会計予算
 賛成全員承認
 - 陳情3件
 賛成全員承認

平成21年第1回定例会が、3月10日から15日間開催されました。冒頭、村長から「多目的交流センターが2月末しゅん工し、4月1日から業務を開始する。定額給付金は、4月下旬支給を予定している。『株式会社あづみ野ビバレッジ』は、4月からの操業を目指して工場建設を進めている。」等あいさつがありました。

平成21年度予算は一般会計他7会計が提案され、一般会計は、歳入歳出総額38億4300万円で、厳しい財政状況の中、施策全般に整理、見直しを行って編成されています。

歳入のうち、村税は前年より2700万円の減となり23・2割を占め、地方交付税は前年より8700万円増で、34・6割を占めています。

歳出は、大型事業の終了により普通建設事業費が68・9割減少し、2億8274万円になっています。

特別会計の国民健康保険、老人保健、後期高齢者医療等は、医療制度改革や、過去の動向を考慮して予算編成されています。

それぞれの予算は特別委員会審査し、別記意見を付け議決しました。提出された全ての議案を議決し、24日閉会しました。

陳情

- 〔採択〕
 - ◎ 県産材の利活用促進に関する要望書
 - ◎ 松川村に弓道場設置を求める陳情書
- 〔継続〕
 - ◎ 平成21年度税制改正に関する要望について

生活防衛のための緊急経済・雇用対策に関する意見書

全員の提案により国へ提出
定例会最終日に議決

- 〔前文は省略〕 国は、緊急雇用対策を実効あるものとするためにも、以下の事項について万全の措置を講ぜられるよう強く要請する。
1. 「生活対策」及び「生活防衛のための緊急対策」等、雇用対策を確実かつ迅速に実行すること。また、当該対策の実施にあたっては、地域の実態に即した効果的な事業執行を可能とするともに、地方に対する積極的な支援・協力はもとより、十分な財政措置を講じること。
 2. 既に自治体が独自に実施している雇用対策及び緊急対策等について、地域の実態を踏まえ、特別交付税措置をはじめ、十分な支援措置を講じること。
 3. 雇用の影響を最も受けやすい非正規労働者等について、正規労働者とのバランスを考慮した上で雇用環境の改善を図ること。
 4. 経済関係団体及び事業者等に対し、雇用の維持・確保、内定取り消しの防止、社員寮等の継続的使用などへの対応について、更なる指導・要請の徹底を図ること。

〔意見書提出先〕 衆議院議長 参議院議長

内閣総理大臣 総務大臣 法務大臣
財務大臣 厚生労働大臣

21年度予算への議会意見

〈予算特別委員会〉

議会では、下記のような意見を付けました。



〔共通事項〕

- 村内企業及び村民への不況対策は状況を十分踏まえ、迅速かつ適切な対応をされたい。
- 世界的な経済不況の影響を受け、今後更に税等の収納は厳しい状況が懸念される。収納率の向上には、なお一層努力されたい。
- 新事業の「放課後子どもプラン」は、円滑な運営に努力されたい。
- 「指定管理者制度」導入については、調査、研究を十分行い慎重に進められたい。

総務課 ● 第6次総合計画策定に当たっては、現状を踏まえ住民の意見や想いを反映して、希望に満ちた村づくりの計画策定を進められたい。

● 「ふるさと応援寄付金」については、PR方法を検討されたい。

環境福祉課 ● ごみ等の減量化に向け水切りを徹底すると共に、生ごみの堆肥化处理など資源の有効活用に努められたい。

● ※ヒブ(Hib)ワクチンの投与補助を取り入れ、幼児の子育てを更に充実されたい。

経済課 ● 国営公園開園に村民の期待は大きい。村として公園開園が村民のメリットになる取り組みを進められたい。

総務学校課 ● 池田松川学校給食施設の改築を検討中である今こそ、食育を村民と共に取り組まれたい。

社会教育課 ● 「多目的交流センター」について

- ・ ボランティアの協力を得ながら、利用促進に努力されたい。
- ・ 使用方法と安全管理を徹底されたい。
- ・ 維持管理に当たっては、経費節減に心掛け省エネ対策に努められたい。

※ヒブ(Hib)…肺炎・敗血症・喉頭蓋炎などさまざまな全身感染症を引き起こす細菌。中でも特に重篤な病気が細菌性髄膜炎で、重症化して死亡したり後遺症が残る場合がある。このワクチンは、昨年12月から任意で接種できるようになり、小児期重症ヒブ感染症の予防に有効とされている。

議会日誌

〔1月〕

18日 消防団出初式

27日 町議会広報研修会

29日 議会全員協議会

〔2月〕

6日 穂高広域施設組合議会

9日 高瀬広域水道企業団議会

16日 農政懇談会

18日 北アルプス広域議会

〔3月〕

3日 池田松川施設組合議会

5日 議会運営委員会

議会全員協議会

10日 平成21年第1回定例会

(24日まで)

18日 中学校卒業式

21日 小学校卒業式

24日 保育園卒園式

ほか

1・5 村内新春賀詞交歓会

23 国へ要望(国営公園)

24 青少年育成村民運動推進大会

30 村水田農業推進協議会

2・3 ボランティア協議会総会

5 高瀬川沿岸農業水利運営委員会

11 スポーツ少年団表彰式

27 大北社会福祉事業協会評議員会

3 村社協理事會・評議員会

30 池田松川学校給食センター運営委員会

31 土地開発公社理事會 など



一般質問 8人の議員が登壇

平成21年3月18・19日



横沢議員

観光客誘致の取組みは

問 7月18日国営公園開園に向けた村の取組みは。

答 施設内での農産物販売を公園側へ要望した。村観光散策マップに国営公園を載せマスコミや旅行者などにPRし、セピア、道の駅に開園周知用の横断幕を設置した。

問 すすむし荘での宿泊客数は限られる。21年度大北地域振興計画に新たに農家民泊の取組みが盛り込まれた。どんな計画・方法で進めるのか。

答 農業生活体験を中心とし、実践に移したい。

問 細野の乳川堤防の一部が遊歩道整備された。両岸を整備すれば観光スポットになる。地域と連携して取組まないか。

答 努力していきたい。

家族経営協定の推進を

問 家族経営協定は、農業経営を通じて明るい家庭を築くため家族全員が自覚を持ち、互いに助け合いをし、農業における男女共同参画社会の構築・形成を目的としているが、村での取組み状況は。

答 約10年前から取組み現在15組協定している。

問 なかなか広がらない原因、障害は何か。

答 家庭内の事情と思う。きっかけづくりが重要と分析している。



矢口議員

水田農業の維持

問 米作で振興発展してきた当村には米価下落や経費高騰は問題。今後の米作農業に対する見解は。

答 非常に厳しい。農業委員会なども相談しながら推進していきたい。

問 農家懇談会で、集落営農組合に取組みを誘導し、

米以外の農作物振興を進めるとあった。課題が多く厳しくはないか。

答 販路や技術指導をJAなどの協力で行う。

問 耕作放棄地を宅地造成する考えはないか。

答 前例になれば困る。第6次総合計画で人口問題と絡め調査研究したい。

村内道路への対応

問 高規格道路が示された。村内の出入口は何方所か。

答 県から具体的にならない。拡幅等の計画は。

問 国道の歩道整備は。

答 3地区で整備計画があり、三軒家で用地買収に入っている。

問 県道有明大町線は国営公園開園による交通量の増加が予想される。整備をお願いしたいか。

答 道路改良を含め、歩道設置を要望している。

問 村道整備はどうか。

答 村の計画・地区要望などを総合評価し進める。

問 村施設の今後の活用の実問あり



佐藤議員

介護保険事業への要望

問 県下の多くが介護保険料引上げとなる。北アルプス広域連合は据置きと聞くが評価は。

答 給付準備基金があり、保険給付費が少なく済んだ事が大きな要因。

問 北アルプス広域連合の計画では、村に小規模多機能型居宅介護施設が出来る

と聞いたが。

答 開発申請はまだない。

問 地区ふれあい会へ保健師の健康指導や講話の出席講座はできないか。

答 要請があれば可能。

着地観光の取組みは

問 国営公園開園が間近だ。案内看板の準備は。

答 国県道は設置が決まっている。村の主要道路への設置も要望している。

問 開園記念列車、記念切符などイベント予定は。

答 関係機関などで開園前や開園時のイベントを検討している。村も特急停車の要望をしている。

問 村の観光事業予定は。

答 4月に東京・大阪でマスコミ懇談会があり、国営公園のPRを予定。5月は、大系線をイベント列車「風つ子号」が走り、JRとタイアップした「駅からハイキング」も実施される。秋には村独自のウォーキングイベントを計画中。



平林(源)議員

村長の政治姿勢

問 21年度の予算はどんな編成方法で取組んだか。

答 厳しい財政の中、各課に経常的経費の節減を求め、枠配分をした。投資的経費は実施計画に基づき詳細な査定の後決定した。

問 村第6次総合計画の策定方法および審議機関について聞きたい。

答 アンケートや各行政区から意見を聞き「地域づくり推進委員会」に諮問する。まとめた案についてパブリックコメントを行い、最終的には議会の議決が必要となる。

問 村税の減収が予想される。今後の未収金の回収方法はどうか。

答 不況による税の滞納を

危惧するが、催告書発行や納税相談など行い、納税が難しい場合は分納による納税をお願いする。

問 定額給付金の支給開始時期とその方法は。

答 申請書を4月1日に各家庭に郵送。受付は役場の専用窓口で4月中は土日を含め夜8時まで対応し、4月下旬から支払い可能となる。

問 多くの村外者からふるさと応援寄付を得る方策はないか。

答 PR方法など検討したい。

新事業「放課後子どもプラン」の充実を



白澤議員

問 児童クラブと放課後子ども教室の違いは。

答 児童クラブは留守家庭の子どもを預かり、子ども教室は親の就労と関係なく放課後の子どもたちの居場所づくりが目的。

問 保護者会と運営委員会は違うのか。コーディネーターの役割は。

答 双方に保護者会を置くが運営委員会は一本化した



平林(寛) 議員

緊急経済対策は

現在の状況は、大変な状況と認識し、

い。コーディネーターは商業の企画策定、調整をする。

職員体制は大丈夫か。

十分検討し、支障のないようにしたい。

交流体験など地域の方の参加を得て目的に沿った運営をしてほしいが。

初めての教室であり一生懸命取り組みたい。

松くい虫対策を早急に

近隣町村で被害が出ているが村の状況は。

村内での被害はない。適正間伐を継続し、松くい虫の侵入を防ぎたい。

情報提供を呼びかけ、対策を検討してほしい。

万全な対策をとる。

有害鳥獣対策は近隣町村と連携した取組みが必要ではないか。

広域連合などで話をしたい。

共同参画社会の実現の質問あり

対策に取組みたい。

相談窓口への相談は。

村へはない。商工会に資金繰りや従業員の労働調整などが増えている。

村で雇用対策に取組まないか。

村の仕事で対応できるかは難しい面が多い。

生活福祉資金などの申請状況は。

村社協が窓口で行っており、数件あった。

健全な財政運営を

村税・地方交付税収入の今後の見通しは。

村民税は22年度大きな落込みが予想される。必要な財源を確保し健全財政に努めたい。

起債は少なくし、基金の取り崩しなどで計画を進めてほしい。

今ある財源を有効に使い実施計画に基づき粛々と進めたい。

「自立の村づくり計画」の整合性は。

国の経済状況により見通せない部分がある。第6次総合計画の中で見直しをしていく。

限られた財源の有効活用、施策の重点化でスリムな行政運営を。

注視しながら、有言実行していく。教育行政の質問あり



河内 議員

村長の政治姿勢

企業は3月、6月の決算期が山場になる。村内の失業者の状況は。

村内70社のうち10月以降自己都合も含め54名。

村で緊急雇用対策としてワークシェアリングの実行はどうか。

村の仕事は個人情報扱う職種が多く、専門性も高いため難しい。

今不足している看護や介護などの、資格取得の費用を援助出来ないか。

援助は難しい。

簡易舗装について

各行政区から舗装の要望はどのくらいあるか。

42カ所で約9キロメートル、約1キロメートルが完成済み。

区からの簡易舗装要望は実施してほしい。

村民の願いは早期実現したい。

外来植物の駆除

駆除対象になっている外来植物は何か。

村はアレチウリのみ。

セイタカアワダチソウは繁殖力が強く、増えつつある。早めの対策を。

高瀬川河川敷などに見られるが一気に駆除は難しい。今はアレチウリに集中したい。

生息などを村民に知らせ協力を要請しないか。

協働の村づくりの中で対策を進めたい。



渡邊 議員

村の緊急経済対策

村内の企業を訪問した。「先行きが全く見えない。企業存続ができるかどうか。公共事業の前倒しをやってほしい」などの声があった。

村として商工会・工業部会・法人会などと話し合いを持ち大変だと思った。その中で要望されたことについて、できる事は実施している。

雇用破壊は家計を直撃している。子供の教育について学費が払えないなど相談事例はあるか。

小中学校の関係について具体的な相談はない。

火災報知機設置が義務化される。全戸に取付け補助の考えは。

国では21年度の補正予算を検討中。それを踏まえ実施を検討したい。

21年度、松本大学へ職員を派遣を考えている。村の自然環境のよさを売り物に観光と一緒に考えていきたい。

先進地事例は参考になった。古くからあるものを特産品へ活用・ちひろ美術館と連携などの提言を今後に生かしたい。

観光と農業の一本化を目指してほしいが。

池田松川施設組合

平成21年 3月3日 定例会

学校給食施設及び葬祭センターを運営する当組合の平成21年度予算の総額は前年度比285万円増の1億2891万円とし、賛成全員で可決しました。

松川村の分担金は、給食関係は、52.3万円を占める5812万円となり、葬祭センター関係は、48.4万円の567万円となっています。

給食対象児童・生徒数は、1759名中928名が松川村です。葬祭センターは、両町村の人口割で分担します。21年度から新しく業務委託で、接遇に配慮した対応をすることを決めました。

穂高広域施設組合

平成21年 2月6日 定例会

一般廃棄物処理として、1市1町4村で構成する当組合は、平成21年度予算の総額を22億8257万円とし、歳入の41.8%を占める分担金のうち当村は、7980万円8.4%を占めています。歳出の主なものは衛生費で、焼却施設・不燃物処理施設等の工事、し尿処理施設大規模改造事業など、19億5261万円を計上し、賛成全員で可決しました。

一般廃棄物最終処分場について「自ら出したごみは、自ら処理処分する」の原則のもと、安曇野市内での確保を進めています。

定例会等会議録が村ホームページでご覧いただけます。

ホームページアドレス <http://www.vill.matsukawa.nagano.jp/>

議員が関係する組合等の報告

(金額は千の位を四捨五入)